



DX戦略 2022

一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター
2022年9月

Agenda

- ・ISCOの基本理念とDX戦略について
- ・ISCO DX 社内システムのロードマップ
- ・取り組み事例① 顧客情報管理とMA
- ・取り組み事例② グループウェアを活用した社内業務の改善
- ・取り組み事例③ グループウェアを活用した社内ポータル
- ・取り組み事例④ 社内インターネットラジオ
- ・ISCO DX推進体制
- ・KPI
- ・セキュリティ対策
- ・課題と今後のDX戦略



■基本理念

沖縄県経済の振興を図る産業支援機関として
県内産業界の課題解決と新たな価値創造を促進するため
データとデジタル技術の利活用とイノベーションをもたらす機会を創出する

■ISCO DX戦略

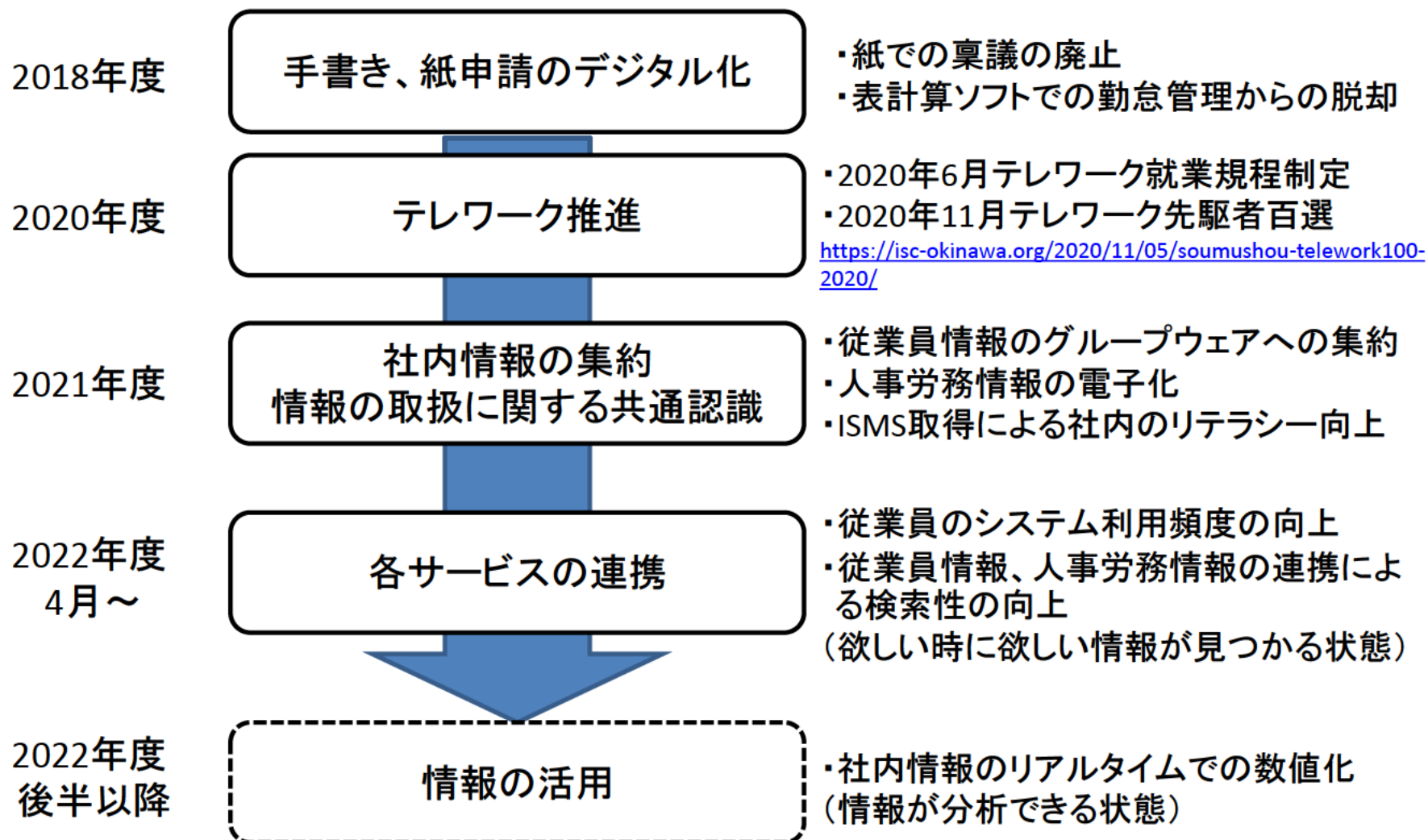
ISCO自らデジタル技術とデータを最大限に活用し、
日々の業務の中から、イノベーションを創出する。

DX推進により業務の生産性向上を図り、
事業拡大や人材育成等を推進する。

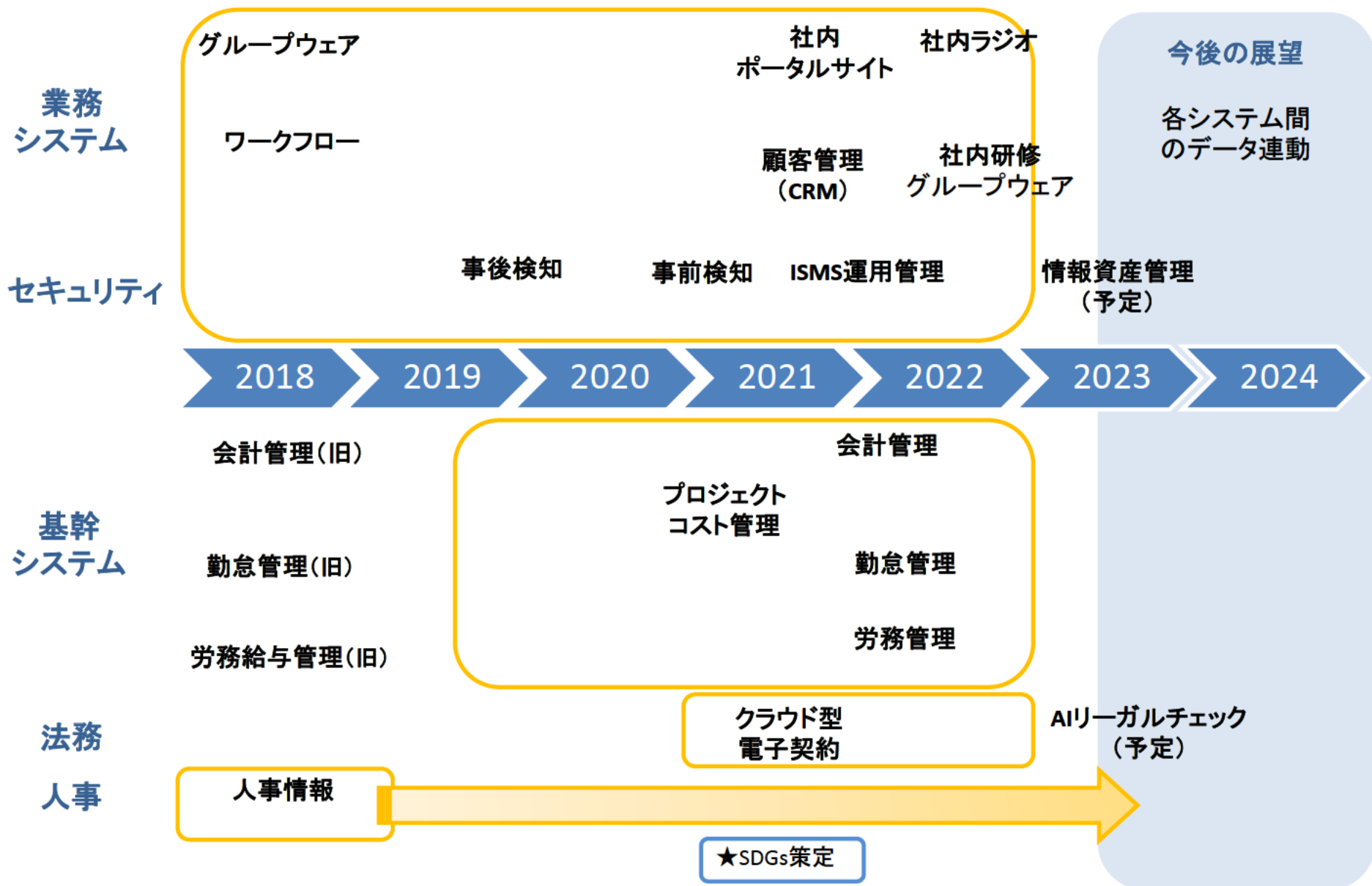
またそれらで得た知見を活用し、
県内産業界の課題解決と新たな価値創造を実現する。



ISCO DX 社内システムのロードマップ

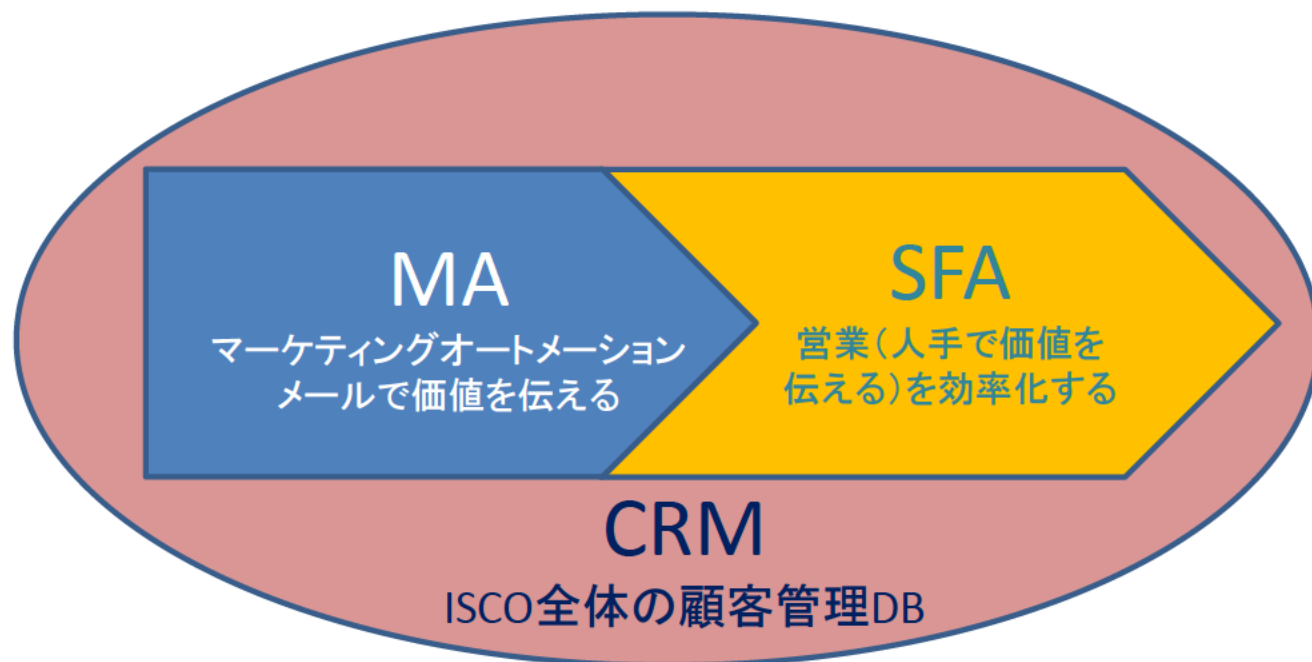


ISCO DX 社内システムのロードマップ



取り組み事例① 顧客情報管理とMA

CRMシステム



★2022年6月より。

■導入理由

セクションごとに管理していた顧客情報をCRMシステムで一元的管理し、案件管理や効率的なマーケティングをするため。

■導入効果

- ・全社的なCRMデータベースを構築
- ・各セクションで行われているセミナーなどの参加者や講師情報を、一元管理
- ・メール配信やフォームの活用を行い、マーケティングオートメーションを実現
- ・共通の案件管理(SFA)が可能になった

取り組み事例② グループウェアを活用した社内業務の改善

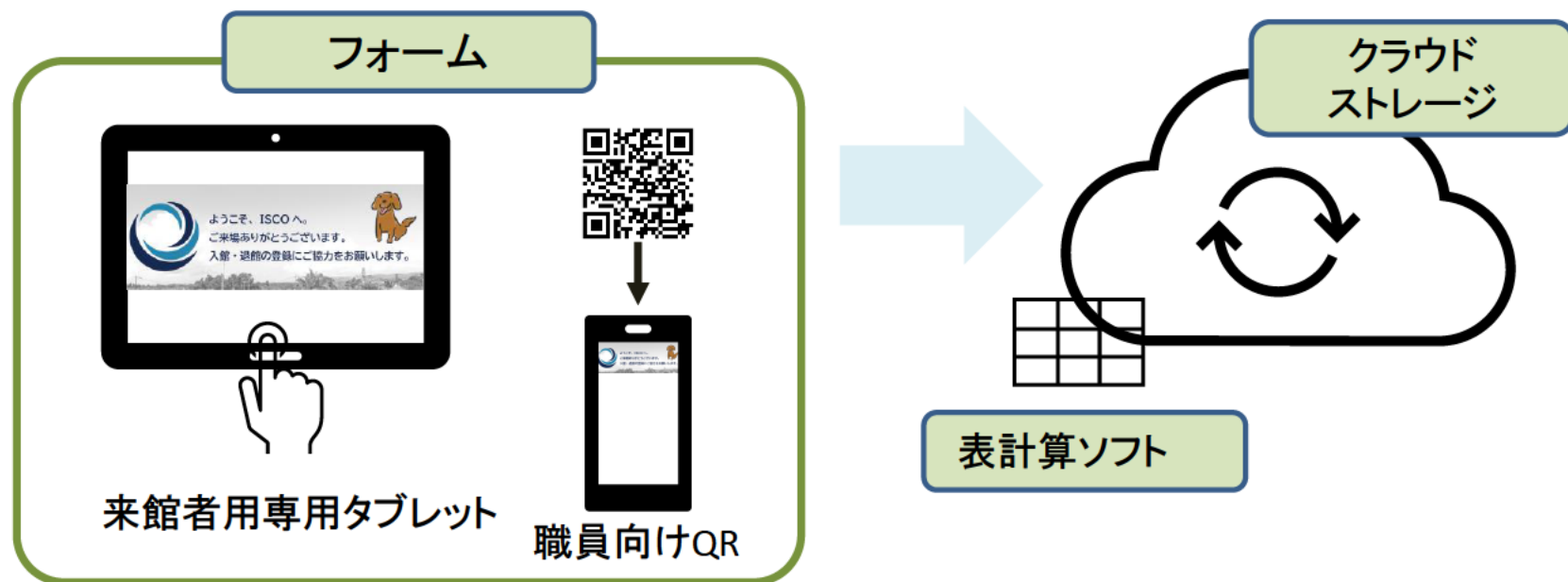
★2022年4月より

■導入理由

各種管理業務の中で専用紙での記入などで運用していたものについて、入力の簡素化、データ化をするため。

■導入効果

- ・グループウェアのフォームからデータ入力ができるようにすることで、クラウドストレージへのデータ管理に改善。 【改善例】職員入退館記録表、車両運転管理表、来館受付など
- ・データベース化することにより定量的な分析を可能にした



取り組み事例③ グループウェアを活用した社内ポータル

★2022年8月より

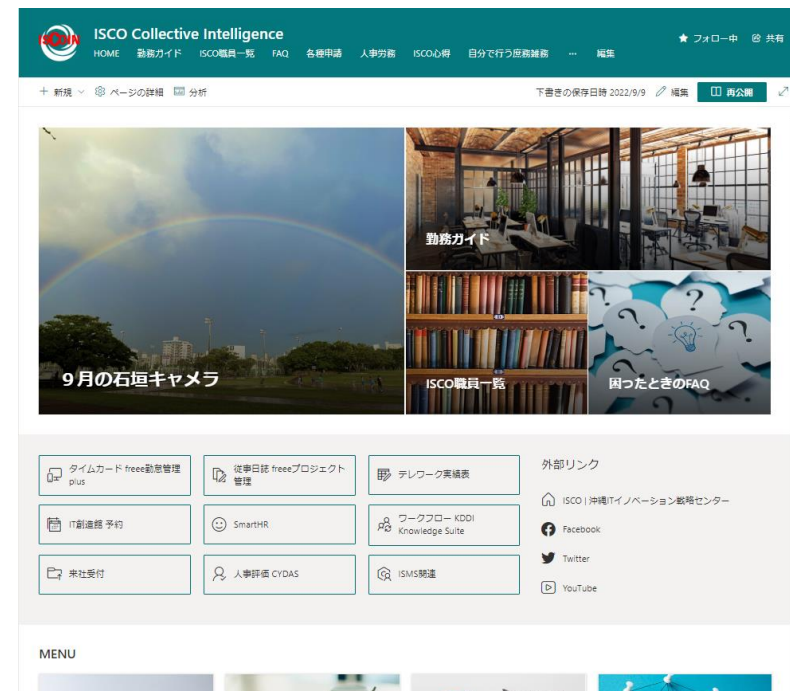
■導入理由

これまではクラウドストレージや社内グループチャットなどに情報が分散されており、情報検索コストがかかっていた。

■導入効果

- ・グループウェアのサイト機能を活用した社内ポータルサイトの構築を行い、各種情報の集約し社内の規定や各種情報にアクセスしやすくなった。

- ・職員全員が親しみの持てるコンテンツを盛り込むなど、社内情報としての機能だけではなく、社内コミュニケーションのプラットフォームとして活用している。



★2022年1月より

■導入理由

ISCOでは、**職員の行動指針**を「ISCOMPASS」として、職員一人一人が、Be an Innovatorとして、イノベーターになるために自分はどうするか？ということを考え、それをサブタイトルとして設定している。

このような**社内文化の醸成**を目的とし、サブタイトル作成のきっかけづくりのため、社内ラジオ「イノベルBar」を毎週1回配信している。

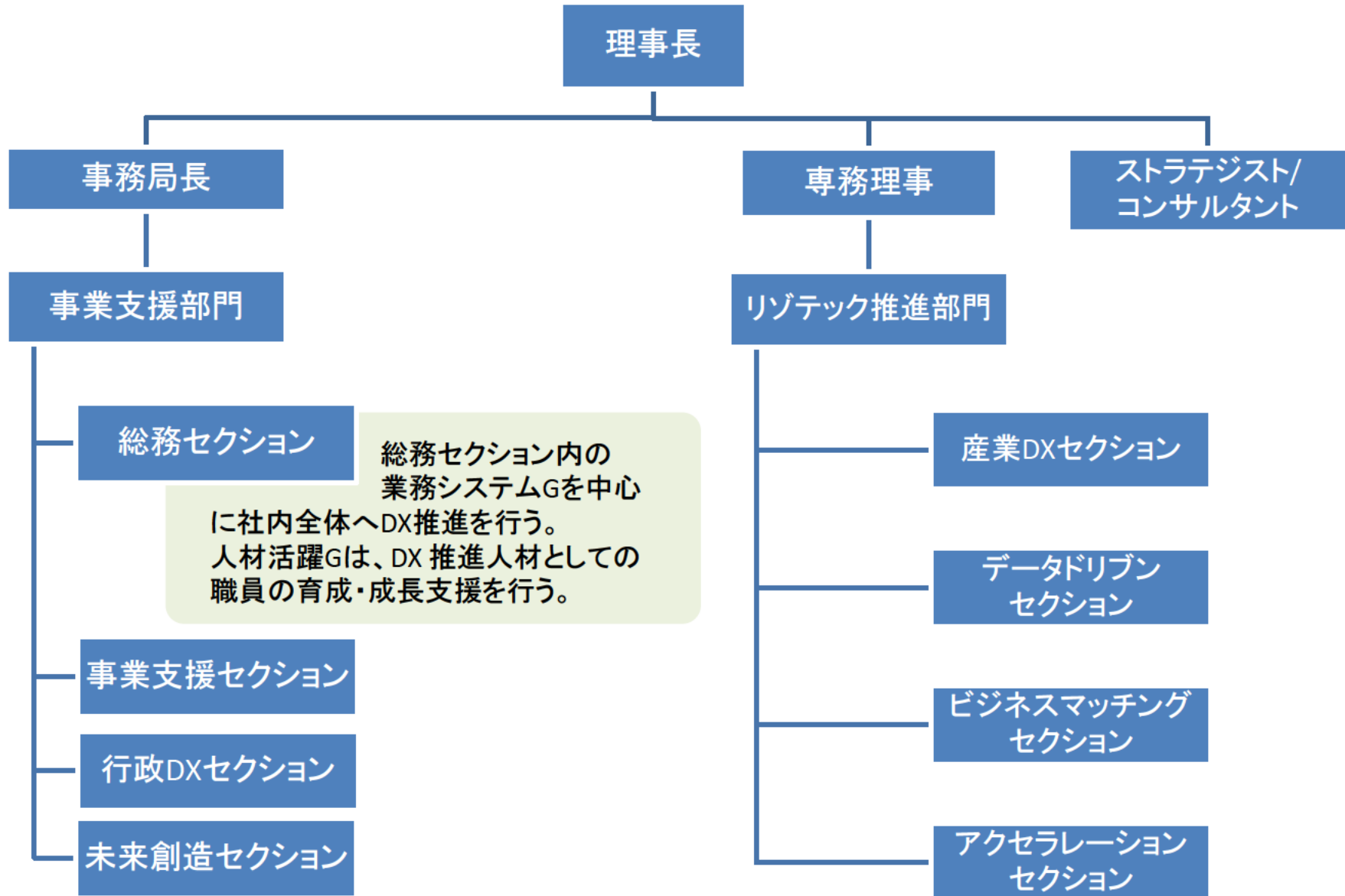
■導入効果

・**インターネットラジオ**を活用し、毎回、ゲスト職員を迎えながら、ISCOMPASSについてや、職員それぞれのバックグラウンドを知る機会としている。テレワークを推進している中で、職員同士のコミュニケーションが取りにくくなる中、社員間の**コミュニケーションコンテンツ**として活用されている。

・企画・制作・配信から、職員の視聴まですべて**フルリモートで実現**している。



ISCO DX推進体制



実施済み:15件 今年度目標:20件

ペーパーレス

入退館管理
来客受付
入退職者チェックシート
アカウント申請
ツール申請
外部ユーザー申請
ミーリングリスト申請

7件



グループウェア

業務改善

社内ポータルサイト
機器の貸出管理
顧客管理
営業案件管理
インシデント管理

5件



グループウェア
CRMシステム

セキュリティ・
人材育成の改善

アンケート配信
委託先管理
社内教育

3件

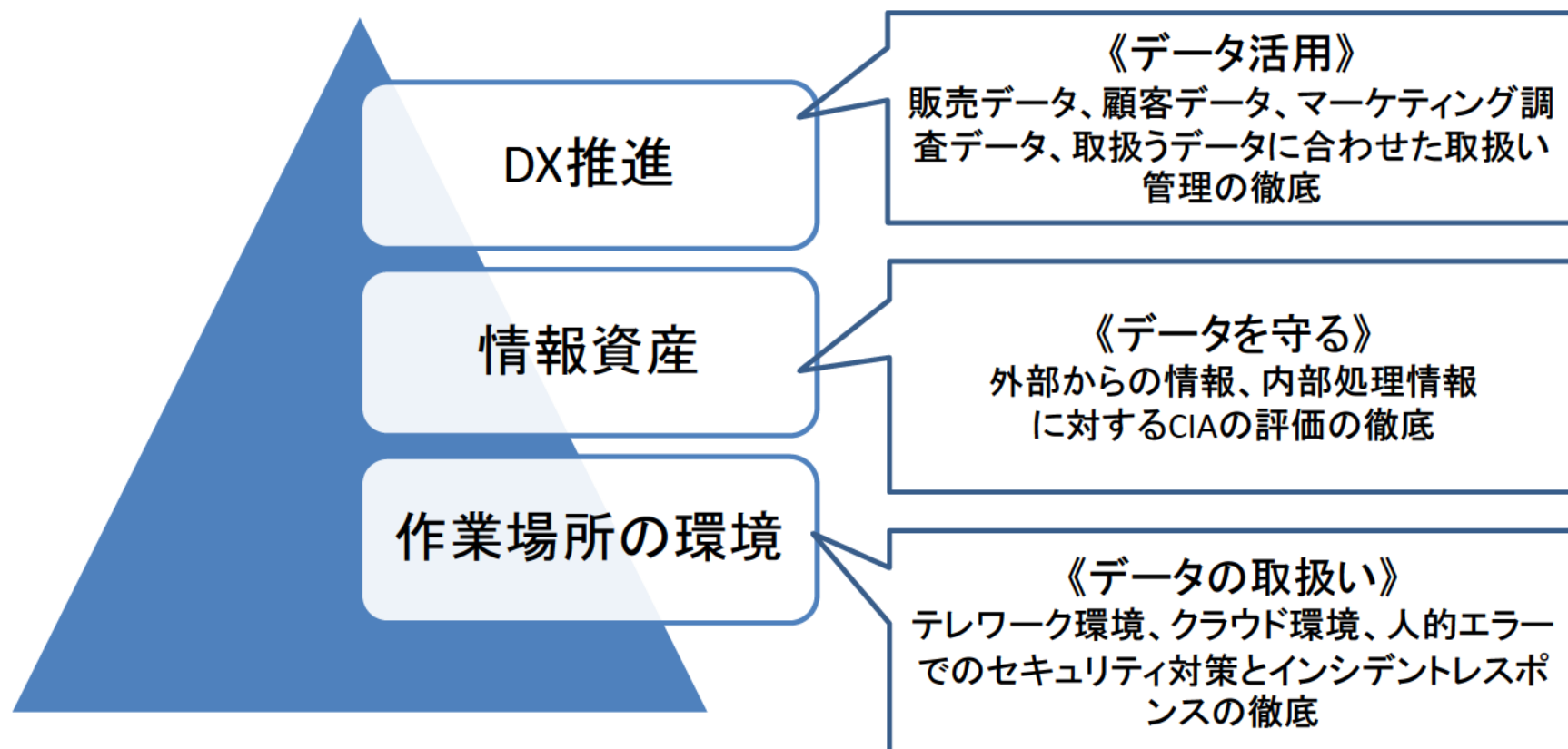


人事システム
(E-ラーニング、アンケート配信)
グループウェア
(社内研修アーカイブ視聴、
オンライン開催)

セキュリティ対策

★2022年2月 情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)を全社取得

社内で取り扱う情報や、DXを進めていく中で活用するデータを
ISMSに沿った規格を軸に、従来のセキュリティ+αでのセキュリティ対策を実施していく。



課題と今後のDX戦略

■システム間のデータ連携

ISCO設立から徐々に社内システムが導入され整備されてきたが、データが連携していない面もあるため、今後は、各システム間の連携をより進め、業務の効率化を図る。
また、社内情報の数値化を進めBIを活用し業務効率や各種情報を定量的に把握できるようにする。

★導入検討を進めているシステム

- ・BIツール
 - ・人事システムとグループウェアの連携、RPA化
 - ・グループウェアと連動したワークフローシステムへの移行
 - ・情報資産管理ツールの導入
- 既存のグループウェアと合わせて、アカウントや資産の管理を徹底していく

■各種システムのさらなる利活用

既存の各種システムの利活用をさらに高め、DXを進めていく。

- ・ポータルサイトのコンテンツの拡充
- ・CRMシステムを活用した案件管理、顧客管理を進め、マーケティングオートメーションを活用し事業拡大へつなげる
- ・RPAツールを活用し自動化を進める
- ・オンライン/オフラインでの社内研修の実施や、社内ポータルを活用したアーカイブ配信を行い、ISCO 内でのDX人材の育成推進を図る